更に進化する!! データ・テックの車載器（SR）

大和物流が新デジタコを全車両に導入

事故防止と労務管理を連係

総合運行管理システム

世界初のドライブレコーダー「セーフティレコーダ®（SR）」のデータ・テック（本社＝東京・大田区、田野通保社長）のSRシリーズが進化を続けている。大和ハウスグループの大和物流（本社＝大阪市、緒方勇社長）がSRシリーズのデジタルタコグラフ「SRVDigitacho N」（ドラレコ・デジタコ一体型）を全車527台に導入し、データ・テックと大和物流、大和ハウスグループで物流システムやクラウドサービスを展開するフレームワークス（本社＝静岡市、秋葉淳一社長）の3社で「総合運行管理システム」の運用をスタートする。大和物流東京支社（千代田区飯田橋）へ、田野社長が緒方社長を訪問した。【同行取材＝本紙編集部】

大和物流　緒方社長に聞く
インタビュアー　**田野社長（データ・テック）**

左からデータ・テックの田野社長、大和物流の緒方社長、フレームワークスの秋葉社長

握手する田野社長（左）と緒方社長、データ・テックのデジタコ（SRシリーズの「SRVDigitacho N」）を手にする秋葉社長

データ・テックのデジタコなら可能

田野　今回、数ある車載器メーカーの中から当社を選んでいただきありがとうございます。

緒方　大和物流さんが当社を選んでいただいた理由は？

緒方　世界初のドライブレコーダーやデジタルタコグラフで、日本で、いや世界で1番に実績のあるデータ・テックさんですが、貴社の能力と実績なら当社の要望を実現できると思いました（笑）。

田野　大変光栄です（笑）。交通事故防止は当然ながら、労務、労働時間、経費などの管理を含めた画期的な要望でした。しかも、労働時間の「36協定」の順守や、拘束時間オーバーなどを未然に防ぐということも含まれていました。

緒方　交通事故防止や、燃費管理などはSRのドライブレコーダーによるシステムで十分管理されていますが、労務管理とか作業管理などを連動していけないかと考えたわけです。そうなれば、ドライバーは安全・安心の仕事ができる、家族も喜ぶし、会社も大和ハウスグループも喜ぶ、荷主さんにとっても素晴らしいことだと理解していただけるのではないかと思いました。

3PL事業を柱に急成長の大和物流

田野　大和ハウスグループさんは現在、3年ごとに1兆円ずつ増収と驚くような伸びです。大和物流さんも3PL事業を柱として急成長しています。

緒方　大和物流は、大和ハウス工業の建材物流を引き受けて1959（昭和34）年に創業し現在、売り上げの37%がハウスグループ、63%が一般のユーザーです。こちらの外販を増やしていこうとしている。これが我われの大きな目標です。

「結果管理」から「未然防止」へ

田野　大和物流さんは創業時からコンプライアンス（法令順守）と「安全・安心」を積極的に取り組んでいます。

緒方　ええ。私自身も大和ハウス工業から大和物流に移って今年で4年になり、おかげさまで本体もグループも順調に推移しています。社長に就任して思ったのは、CSR（企業の社会的責任）です。

田野　運輸業界には長時間労働など社会問題もあります。

緒方　そう。業界のドライバーは、荷主との立場などの関係もあって、どんなことがあっても今日、届けなければと思ってしまう傾向があります。

田野　ええ。

緒方　そのため、少々の協定違反でもいかに届けるかという使命の方が先に立ってしまう。当然、ユーザーの要望に応えて時間通りに到着しないといけないのは当然ですが、それを阻害するものがあればいかに取り除いていくかということが大事です。

ドライバーの精神的ストレス解消

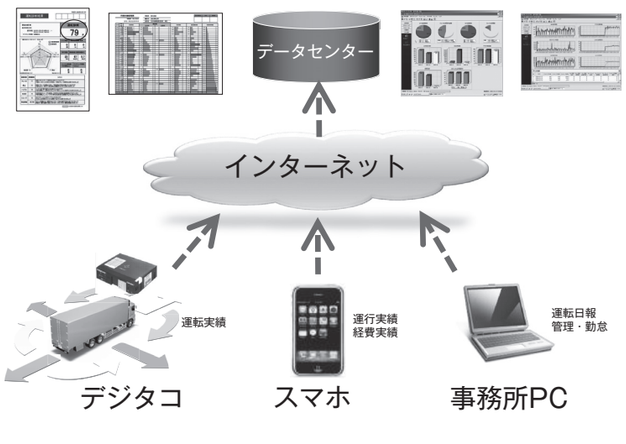
田野　そういう労務管理に悩んでいる会社さんは多いと思います。ドライバーさんがあと何時間働けるとか、拘束時間が分かるとなると、ストレスの的にも相当違うんじゃないかと思います。

秋葉　デジタコ、ドラレコできちんと管理できる事業者なら荷物を預ける側も安心です。ドライバーの労働環境がまずくて、何かあった時にお客さんに迷惑がかかりますよと言うためには、きちんと情報の武装をしていないといけない。それがこのシステム開発で可能になります。

緒方　これまでのデータは結果管理でしたね、未然防止でなかった。しかし、今回のシステムでそれが期待できます。

「当社を選んでいただき光栄です」と田野社長

クラウド型　総合運行管理支援システム



デジタコを使った運行管理システムとスマートフォンを使った実績データ収集で労務管理と経費管理を連携した総合的管理支援システムを構築した。

デジタルタコグラフデータ、セイフティレコーダ（SR）データ、スマートフォンを含めた全てのデータはクラウド上に一括集約して管理する。

今後はさらにiLTS（動態管理サービス）、工場での集積管理、現場からの回収物流などの情報と横断的に連携し、業務生産性、品質のさらなる向上を目指すことができる。

日本の物流業界に貢献

田野　これは大和物流さんにだけではありませんが、クライアントさんには、燃費の改善などをはじめ、様々なことにも目標を立てて、提案させていただいています。

秋葉　協力会社のマネジメントを含めてどうするか、進めていきたいですね。高齢化の時代、安全・安心は当然ですが、働きやすい状態をつくらないと、これからも物流業界の人手不足は解決されません。

田野　ええ。

秋葉　あとはモビルスーツじゃないですが、荷卸しを楽にさせてあげようとか、そうすると、ドライバーも大和物流で仕事をしようとなり、人は確保できると思います。

夢のある大和物流へ

緒方　現場と管理者が双方向で見える化されるので、安心感につながり、大きい効果が期待できます。

田野　働きやすい環境ですね。物流業界にとっても良いことです。今回のシステムは、スマホも利用しドライバーさんにも愛用していただけると思います。

緒方　今後、ますますドライバー不足や、高齢化が重なっていきます。女性の活用も重要です。大和ハウスグループではダイバーシティ（多様性）を掲げています。女性のためにも、若者のためにも魅力ある、夢のある大和物流にするためにも、今回の「総合運行管理システム」は、日本の物流業界のためにも大きな貢献ができると期待しています。

田野　頑張ります。ありがとうございました。

これからも心動かす物づくりを目指します

◆ 業界1の実績！

安全対策をしても、なかなか効果を実感できない
「自己流」運転のクセを明確に指導できない
そんなお悩みをズバリ解決！

車両総重量7t～8t（最大積載量4t～5t）も
運行記録計義務化拡大の対象となります。
※ 当社製品は義務化拡大に対応しております。
（各種助成金もお使いいただけます！）

お助けセミナーの様子

・お助けセミナー（導入後の運用フォロー）
・個別展示相談会（導入検討中のご相談等）
・経営者セミナー（広く物流の情報を発信中）
・お客様交流会　・SRグランプリ開催中

datatec®
http://www.datatec.co.jp
株式会社データ・テック
検索
データ・テックのニュース、製品、サービスなどの情報をご覧いただけます
☎ 03－5703－7060
お問い合わせ　データ・テック営業本部